科目ナンバリング	U-LAS23 20002 SO48						
授業科目名 <英訳>	中国語IIＢ [文法・文化理解] C260 Intermediate Chinese B [Grammar, Cross-cultural understanding]			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 中原　理恵		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金2	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業は中国語の文法の習得並びに中国文化の理解を中心とする。
明清時代の長編小説『水滸伝』『三国志演義』『西遊記』『紅楼夢』（いわゆる「四大名著」）の現代中国語訳文を読解することにより、初級中国語で学んだ語彙・文法・発音についての基礎知識を確認しつつ、中国語による表現のために不可欠な文法事項を習得することを目的とする。併せて、中国白話小説（知識人の言語である文言に対し、俗語による白話を用いて書かれている）を中心とする、中国文化に関する基礎知識を身につけることも意図している。

[到達目標]

中国語で自分の主張・見解を表現するために必要不可欠な文法事項を習得し、受講者自身の主張・見解を中国語で表現できるようになる。また明清時代の白話小説に関する基礎的な事項を理解し、中国の言語・文化に対する認識を深める。

[授業計画と内容]

この授業はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う。
四大名著の現代中国語訳ならびに原文に関わる解説文を内容とする教員が作成したテキスト（ピンイン付き）に基づき、受講者が毎回決められた範囲について予習を行い、授業中に音読と日本語訳を発表する形式で授業を進める。教員は、中国語の発音の指導と、テキストにみえる文法事項についての詳しい解説を行う。受講者は、正確な発音及び日本語訳を心がけることが求められる。授業では中国白話小説の原文・文化背景についての補足説明も行っていく。
具体的な授業計画は以下の通りである。ただし、受講者の理解度に応じ、内容を増減させることがあるため、必ずしも計画通りに進まない可能性がある。

第1回　中国白話小説の背景知識についての概要説明
第2回　三国志演義の講読（一）
第3回　三国志演義の講読（二）
第4回　三国志演義の講読（三）
第5回　三国志演義の講読（四）
第6回　三国志演義の講読（五）
第7回　三国志演義の講読（六）
第8回　三国志演義の講読（七）
第9回　紅楼夢の講読（一）
第10回　紅楼夢の講読（二）
第11回　紅楼夢の講読（三）
第12回　紅楼夢の講読（四）
第13回　紅楼夢の講読（五）
第14回　紅楼夢の講読（六）
《期末試験》
第15回　フィードバック

中国語IIＢ　[文法・文化理解] C260(2)へ続く↓↓↓

中国語IIB　[文法・文化理解] C260(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として期末試験70点、平常点30点で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。
平常点については、予習状況の評価に基づく。

[教科書]

使用しない
プリント（教員の作成したテキスト）を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

よどみなく朗読できるよう練習するとともに、正確な日本語訳ができるように準備をして出席すること。

[その他（オフィスアワー等）]